

第8期第8回さいたま市公民館運営審議会 議事録

1 開催日時

平成29年1月27日（金） 午後1時10分から2時40分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 7階 講座室1・2

3 出席者名

〈委員：8名〉

- ① 坂西 友秀 委員長
- ② 青木 光美 委員
- ③ 碓井 麻由美 委員
- ④ 加藤 正晴 委員
- ⑤ 黒岩 清 委員
- ⑥ 田中 徳代 委員
- ⑦ 長谷部 美紀代 委員
- ⑧ 山田 玲子 委員

〈拠点公民館職員：9名〉

- | | |
|----------------|--------|
| ① 西区 指扇公民館長 | 鈴木 庄蔵 |
| ② 大宮区 桜木公民館長 | 森田 隆之 |
| ③ 見沼区 大砂土東公民館長 | 吉田 勉 |
| ④ 中央区 鈴谷公民館長 | 佐藤 賢一 |
| ⑤ 桜区 田島公民館長 | 押田 龍彦 |
| ⑥ 浦和区 岸町公民館長 | 大嶋 真浪 |
| ⑦ 南区 文蔵公民館長 | 三上 富士夫 |
| ⑧ 緑区 大古里公民館長 | 藤光 若人 |
| ⑨ 岩槻区 岩槻本丸公民館長 | 宮崎 通夫 |

〈事務局：6名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 戸張 豊一
- ② 副館長 小川 栄一
- ③ 主幹 西渕 亮
- ④ 事業・企画係長 荻原 唯史
- ⑤ 事業・企画係主任 榎 進吾
- ⑥ 社会教育指導員 西山 尚子

4 新任委員の紹介

新たに委員となられた久保木委員の紹介を経て議事に入った。

5 議題

- (1) 公民館と青少年・若者のつながりについて（平成28年度青少年・若者に関する事業の実施状況説明及び「青少年・若者」のニーズ調査の集計結果中間報告による現状の把握、課題の整理）

6 配布資料

- (1) 会議次第
- (2) 第8期第8回さいたま市公民館運営審議会出席者名簿
- (3) 第8期第8回さいたま市公民館運営審議会席次表
- (4) 第8期第7回さいたま市公民館運営審議会議事録（案）
- (5) 平成28年度 青少年・若者に関する公民館事業計画書（資料1）
- (6) 青少年・若者に関する事業実施報告書（資料2）
- (7) 「青少年・若者」のニーズ調査（街頭アンケート）概要（資料3）
- (8) さいたま市公民館運営審議会から他の会議等に推薦している委員一覧（資料4）

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

1名

9 会議

会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 審議内容

審議冒頭前回（第8期第7回さいたま市公民館運営審議会）の議事録について、承認を経て議事に入った。

坂西委員長	それでは、議題（1）公民館と青少年・若者のつながりについて（平成28年度青少年・若者に関する事業の実施状況説明及び「青少年・若者」のニーズ調査の集計結果中間報告による現状の把握、課題の整理）ということで、事務局より説明をお願いします。
-------	---

議題（1）「公民館と青少年・若者のつながりについて（平成28年度青少年・若者に関する事業の実施状況説明及び「青少年・若者」のニーズ調査の集計結果中間報告による現状の

把握、課題の整理)」に関するものとして、事務局より、「平成28年度 青少年・若者に関する公民館事業計画書」(資料1)について、第6回審議会に配布した同資料からの修正点を説明したのち、第6回審議会以降事業を実施した生涯学習総合センター、見沼区、浦和区、南区、岩槻区の事業について、事務局及び各拠点公民館長より、実施報告を(資料2)に基づき説明した。

坂西委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事業を実施した生涯学習総合センター及び4区からいただいた報告について、各委員から質問等ありましたらお願いします。</p> <p>私の方から、よろしいでしょうか。岩槻本丸公民館が実施した事業は、料理の内容となっていますが、作った料理はどうするのでしょうか。その場で食べるのでしょうか。</p>
宮崎岩槻本丸公民館長	<p>そのとおりです。参加した皆さん方で4品目作ったのですが、全体で10時～13時までのうち、2時間くらいで作って、1時間くらいで食事をしながら会話をするというような、一般的な講座より長めに実施しました。</p>
坂西委員長	<p>ありがとうございました。皆さんいかがでしょうか。</p>
山田委員	<p>岸町公民館の「40歳までのマンガ家に挑戦」が、とても良いなと思いました。対象もはっきりしているし、将来の仕事のような関心のあるテーマ設定もとても良いと思いました。そして何より、情報交換をしている方がいて、将来につながっていくということは、地域での部活動のような、若者の居場所というイメージができたと感じました。</p>
長谷部委員	<p>報告をいただいた、各館については、大変苦心と言いますか、苦労なされて、工夫をされて募集に取りかかっているということに感心しました。また、流行と言いますか、目新しいものところには、関心が集まって、参加者が多くなるのかなということも感じました。</p>
加藤委員	<p>私も、岸町公民館の「40歳までのマンガ家に挑戦」について、とてもユニークな事業だと思いますが、その場限りで終わるのではなくて、継続する、講師の折衝もあるのでしょうか、仲間同士でサークルを作って月1回でも活動するようなものは生まれてこなかったのでしょうか。</p>
大嶋岸町公民館長	<p>今回の事業につきましては、全2回しかなかったことから、作品を仕上げるといふようなところまでは至らなかったのですが、参加者に個別で話を伺うと、「もうちょっと続けていきたい。」というような御意見もありましたので、参加者の中に核となるような方いて、もう少し講座の回数があれば、サークル化につながって、新たな若者世代の方が来ていただけるかなという印象を受けました。</p>
加藤委員	<p>ありがとうございました。</p>
坂西委員長	<p>事業の中で、海外からいらっしゃる方の参加はあったのか、全く</p>

	無かったのか、把握されているでしょうか。
槇主任	申込者からは、特に把握しておりません。
坂西委員長	<p>そのような情報は、取っていないのですね。もしかすると、何人かいらっしやるのかもしれませんがね。他にはよろしいでしょうか。</p> <p>それぞれの館で、御苦勞をされたということがわかりました。実施がこれからの館もありますので、是非充実した事業を実施していただきたいと思えます。ありがとうございました。今後、実施予定の中央区と緑区については、次回の審議会で報告をいただくということで、よろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、前回までの審議会で検討を重ねてまいりました、「青少年・若者」のニーズ調査について、街頭調査を実施したということで、その実施状況と中間報告を事務局よりお願ひします。</p>

議題（１）「公民館と青少年・若者のつながりについて（平成２８年度青少年・若者に関する事業の実施状況説明及び「青少年・若者」のニーズ調査の集計結果中間報告による現状の把握、課題の整理）」に関するものとして、事務局より、平成２８年１２月に実施した街頭アンケートの実施報告及び次回審議会に向けての報告様式について、（資料３）に基づき説明した。

坂西委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>「青少年・若者」のニーズ調査について、今回は街頭アンケートに限定して、概要を報告いただきました。このことについて、御意見のほか、今後の報告に向けて、こういう結果を出してほしい等の要望がありましたら、併せて出していただきたいと思えます。</p>
加藤委員	<p>報告から一点疑問に思ったのですが、興味のある講座・事業の回答として、スポーツが一番高いようですが、公民館では、スポーツを行う場所というのはあまりありません。先日、見学させていただいた尾間木公民館のように、バスケットを行うような施設もあるようですが、調査で聞きたいのは、スポーツの内容ではないでしょうか。例えば、中学生や高校生の際に部活動でスポーツをしたとか、小学生からずっとソフトボールや野球をやっていたとか。それについて、公民館でどのように対応したら良いのかということが生じてくると思えます。となると、例えばあるスポーツで有名な方に、根性をつけるにはどのようにやったら良いというような内容の講演や、審判をやっている方から、規則などを学ぶというような内容を公民館で実施していただくとか、またある程度秀でた方からの教訓のようなものを話していただくとか、そういったものが考えられると思えます。そこについて、どのように考えていますか。</p>
荻原事業・企画係長	<p>ただいま、御意見のありましたとおり、公民館は、スポーツ施設とは異なるものですので、実際にスポーツを体験するというだけでなく、</p>

	<p>スポーツに関する座学のような、こちらもただいまおっしゃられた、審判の知識のような講座に展開できるような形にしていくことで、スポーツというニーズに対しても対応できるのではないかと考えております。今回の調査における回答の選択肢については、スポーツの内容までは聞いておりません。本日はまだ集まっておりませんが、どのような講座・事業があったら良いかの自由記述をいただく設問がありますので、その中で拾えるものがあれば、拾っていききたいと思います。</p>
坂西委員長	<p>ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。</p>
長谷部委員	<p>「設問5」の集計結果の中の、「上位8項目の職業別」を見ると、「料理など食育に関すること」の関心が平均して高いように見られたことが、良いのではないかと思います。高校生の割合が高いことも、私自身が食育指導士ということもありまして、子どもの頃から食育をしっかりしたいということに関心を持っており、料理教室を実施したりもしております。小学生の頃から、親子で食育に取り組める講座も実施していただけるとありがたいと思います。</p>
坂西委員長	<p>ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。</p>
青木委員	<p>「設問4」のところで、結果を見ますと、「インターネットのウェブサイト」と、「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」を、使い分けている世代が結構違うんだということが、面白いと感じました。どのサイトやSNSを使っているのかを記入する欄があったかと思うのですが。</p>
荻原事業・企画係長	<p>インターネットのウェブサイトについては、自由記述欄は設けておりません。ソーシャル・ネットワーキング・サービスについては、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムを選んでいただくか、その他のサービスを自由記述していただく欄を設けております。</p>
青木委員	<p>そうですね。こちらの結果がまとまりましたら、さいたま市もラインを始めたりしているので、すぐにも使えるものがあれば、メインターゲットによっては、活用していけるのではないかなと思います。もし集計しているものがあれば出していただきたいということと、高校生の結果が予想と違ったということが面白かったなど。その後の「設問5」に関しても、「社会参加・ボランティア活動に関すること」に興味を持っているとか、お金を払うことに関して、お金を稼いでいる社会の方がハードルが高いとか。調査をしてみて、まだ、全ての調査結果が出たわけではないですが、非常に面白い結果だなと思いました。今後、チラシの配布先なども変わってくるのかなということも感じました。</p>
坂西委員長	<p>ありがとうございました。今回の街頭調査は、自由記述を集めていなかったですか。</p>
荻原事業・企画係長	<p>自由記述欄については、街頭調査では何人かの方に記入していただいております。全ての集計が終わっておりませんが、例えば、「設問6」の参</p>

	<p>加してみたい講座については、子どもの権利条約についての学びの会を行いたいとか、若者が子どもたちと関わりを持てる遊びのイベント、あるいは、首都直下型地震など、今起こるかもしれない災害に対して、市が行っている訓練や被害想定についての座学の講座や、婚活イベントなどの記述をいくつかいただいております。もう一つ、「設問8」の公民館のイメージについての自由記述については、やはり年配の方が集まるというイメージが多いという意見や、あるいは、若者向けのイベントがあるのかどうかを知りたい。ネットなどのツールがいろいろあると良い。という意見もいただいております。自由記述については、3月に集計結果を説明する際に、ある程度まとめさせていただいて、報告したいと思っております。</p>
坂西委員長	<p>ありがとうございました。ここまで、さっと説明させていただいて、思ったのですが、「平日の夜間」は「土曜の夜間」や「日曜・祝日の夜間」に比べて、非常に厳しいですね。平日という回答は非常に少ないですので、これが実態を把握して、工夫をすれば変わるものなのだろうかということです。確かにグラフの長いところは特徴がありますが、逆にグラフの短いところについての特徴がものすごく出ていて、厳しいものがあるということです。そこをどのように考えたら良いのかなということです。それから、先ほども出されていましたが、料金について、男性の方が敷居が高いですね。これは、考えている内容が違うから高いのでしょうか。それとも、男性の方がお金の出し方に厳しいというか、要求していることが違うから高いのか、面白いところだなと思いました。SNSのところは、いろいろな種類があるのかもしれませんが、SNSは、人を通じて入っているというのが、ワンクッションあるのかなという気がします。ウェブはストレートに見た方が情報を得やすいというところの違いがあるのかもしれないなと思いました。先ほど高校生の話が少し出ていましたが、高校生は確かに「社会参加・ボランティア活動に関すること」が高いのですが、学校での行事や授業での見学など、横が繋がっている可能性があるというところですね。以前から申し上げていたのですが、学校で何かの交流のきっかけで公民館に来るということは、私は良いことだと思っておりますが、ボランティアのような活動も、ひよっとすると、言葉が適切でないかもしれませんが、学校でボランティア活動をしましょうとか、しなさいとか、そういった経験をする機会が増えていると思うのです。自分でボランティア活動を探すということはなかなか大変ですので、公民館のような公共施設で、何か適切なものを紹介してあげるといことも、私としては積極的な意味はあるのかなと思います。あまり頼られてしまっても困るのですが、そういった背景がどうなっているのかなというところも、少し頭をかすめていました。それからもう一つ、時間帯のところと重なっているのですが、「設問7」で「公民館へ行ったことがない」という回答が43%、半数弱もいるということは、かなり大きな割合ですので、ここもどうい</p>

	<p>風に私たちが解釈するのかということもあります。かなり多いんだなと思いました。</p> <p>私ばかり話してしまってすみません。他に皆様感じていることなど、ありますでしょうか。また、こういうことを知りたいということがあれば、出していただけると、新しい情報が出てくるかもしれませんので、是非お願いしたいと思います。</p>
田中委員	<p>一点、よろしいですか。高校生、大学生に関して、それぞれの男女比というのは、このグラフからは分からないですね。</p>
荻原事業・企画係長	<p>今回のグラフでは、職業別性別のものは、出しておりませんが、3月の報告の際には、出すことが可能です。</p>
田中委員	<p>男女で求めていることが違うのかなと思ったので。</p>
坂西委員長	<p>それでは、事務局の方で、出していただきますようお願いいたします。他にはいかがでしょうか。</p>
山田委員	<p>情報源について、男性と女性の差が出ていて、面白いと思ったのですが、「家族・友人・知人から」という、口コミの部分は女性の方が多いだろうなという予想はできたのですが、「チラシ・ポスター」というのも、男性が6.3%、女性が29.9%と、随分差があって、男性に対するアプローチとして、チラシ・ポスターではダメなんだなというのが、この結果を見てとてもよくわかって、面白かったです。また、女性の方が、情報源が多様なんだなと感じました。アプローチの仕方についての参考になるかなと感じました。</p>
坂西委員長	<p>そうですね。全体を見ると、女性の方が、比較的広い気がします。男性で唯一、飛び出しているのが、「インターネットのウェブサイト」ですが、社会性は女性の方が広いということはよく言われていると思います。他にはいかがでしょうか。</p>
碓井委員	<p>高校生、大学生が社会参加・ボランティア活動に関心が非常に高いので、そのことと公民館を結びつけるには、例えばですが、公民館ではわりと高齢者の会食サービスを実施してたりしますので、一日ボランティアとして、高校生や大学生が何かのお手伝いで関わるとというのが、地域を身近に感じられ、遠くまで行ってボランティアをするのではなく、地域の中で高校生、大学生が社会参加、ボランティア活動に関われるような工夫があると、とても有意義ではないかと思います。</p>
田中委員	<p>今、会食サービスの話題が出ましたが、私が関わったところで、大宮東中学校では、会食サービスの時に、部活単位で、今日はサッカー部、今日は他の部というような、その中で何人かが来て、会食の時に配膳をしたり、ちょっとした行事があった時に司会を務めたりして、今日はいかがでしたかというような感想を聞いたりするようなことが実際に行われています。</p>
坂西委員長	<p>確かに、遠くへ行って、ボランティアをしなければということでは、あ</p>

	<p>まりやらないかもしれません。身近なところでこういったことができるのは、良いかなと思います。作った料理を人に食べさせるというのは、保健に関する法などでひっかかってしまうのでしょうか。作った本人が食べる分には良いのかもしれませんが。</p>
長谷部委員	<p>会食の時は、自治会などで作って出しますよね。例えば、そば打ちをして、食べに来ていただくというようなことをしている自治会もあり、70人から80人くらい集まるところもあります。その他にも、パン作りをしたりとか、いろいろと工夫をされて、運営しているところもあります。2名、検査を受けなければならないのですが、他の人は衛生面で気を付けてもらえれば。問題が起きたことは、今までにないようです。必ずしもそれが良いとは言えませんが、全員が検便検査となると、非常に費用がかかるので、難しいと思いますし。その場合は県や市の方で団体に対して考えていただくとか、課題はありますが、やはり皆で集まって、食事をするのが楽しいのではないのでしょうか。私も、男性料理教室を18年やっていましたが、皆で作って食べるということは、仲間づくりにもつながりますので。食べることというのは、すぐに参加できることだと思いますし。</p>
碓井委員	<p>そのような会食の際に、いろいろな地区で、何か催しをしてくださいといろいろなボランティア団体に頼んでいるようなのですが、平日が多いということもあり、成人に限られてしまうようなのです。それを地区の高校生や大学生に頼めば、世代間交流もできるし、私が聞いているところでは、例えば手品とか、いろいろな団体に食事の時に来てもらって披露してもらって楽しむというようなことを、どこの地区でもやっているようなのですが、それは大人のボランティアさんに限られているようです。</p>
長谷部委員	<p>そこで、高校生などに声をかけて、ボランティアとして協力していただくことが広がっていけば、取り組みやすくなりますね。</p>
碓井委員	<p>私も音楽をやっている関係で、高齢者の方の団体向けに音楽を聞かせてほしいと頼まれて行くこともあるのですが、それも平日なので、もし日曜日などに実施して、お茶を配ったり、高校生と交流を持ちながら、お互いが温かい気持ちになれば、素晴らしいですね。</p>
長谷部委員	<p>歌は、世代に関係なく、皆で楽しめますからね。</p>
坂西委員長	<p>ありがとうございます。今後の答申をまとめる際の参考意見にもなりますね。他にはいかがでしょうか。</p>
青木委員	<p>この審議会が始まった時に、若い人には社会的役割を与えたほうが、こういうところへ参加しやすいのではないかという話があった気がします。参加者として募集するよりも、ボランティアやスタッフとして、お願いされた方が、一歩を踏み出しやすいというようなお話があったと思いますので、ボランティアに興味があるという調査結果からも、そういうところがあったほうが、つながりやすいのかなと思ひまして。中学校や高校と連携</p>

	<p>していく時にも、参加者として遊びに来ませんかというよりも、スタッフに加わってくれないかというほうが、参加者へのカウントという意味では結果に反映されることは難しいですが、スタッフとして事業に関わってもらおうというやり方は学生という若者層に対しては有効なのかなと思います。</p>
田中委員	<p>学生の方は、授業の関係もありますので、平日はやっぱり難しいかと思っています。</p>
青木委員	<p>学校とうまく連携して、そのような体制が取れば良いですね。</p>
坂西委員長	<p>確かに、役割がはっきりしている方が、達成感がありますね。現場に行くだけ行って、役割が無いというのは、結構大変なことのようですので、おっしゃるとおりですね。どのような形で出すかはまだわかりませんが、今後、答申を作成する際に、また出していただければと思います。今後、街頭以外の調査結果も出てきますので、こういうデータが欲しいということがあれば、作られた質問紙の範囲でしか出せませんが、お気づきのところがありましたら、事務局へお願いします。他に無いようでしたら、本日の議事は以上となりますでしょうか。本日いろいろな御意見を皆様からいただきましたので、次回の審議会では、「青少年・若者」のニーズ調査の結果について、本日出てこなかった部分の報告をお願いします。議題は以上となりますが、事務局より何か報告がありましたら、お願いします。</p>

事務局より、「さいたま市公民館運営審議会から他の会議等に推薦している委員一覧」（資料4）について、委員の変更に伴い、長谷部委員をさいたま市社会教育委員会に推薦した旨と、次回審議会にて、平成29年度の事業計画について報告予定である旨を説明した。

坂西委員長	<p>ありがとうございました。事務局からは、社会教育委員会には長谷部委員が推薦された旨報告がありました。長谷部委員、よろしくをお願いします。併せて、次回の審議会では、来年度の事業計画について報告があるということで、こちらもよろしくをお願いします。それでは、以上をもちまして、議題を終了いたします。円滑な議事進行に御協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局をお返ししたいと思います。</p>
-------	---

事務局より、次回は、3月24日（金）午後1時より生涯学習総合センター7階講座室1・2において開催することを確認した。

1.1 閉会